

YAZUCHO ART GARING

Claire Fujita
Moe Matsuhashi

八頭町アートイングリッシュ

参加アーティスト
藤田クレア
松橋萌

報告展示期間・会場 |
2026 年 2 月 12 日 (木)
~ 3 月 8 日 (日)
祝日除く月~水は休 /
八頭町芸術文化交流プラザ
・あーとふる八頭

実施期間・場所 |
2025 年 12 月 ~ 2026 年 1 月
/ 鳥取県八頭郡八頭町新興寺ほか

企画 | 労働者協同組合 Barrier House Project YAZU
主催 | 八頭町教育委員会



八頭町アートケアリング

主催 | 八頭町教育委員会

八頭町アーティスト・イン・レジデンス事業

企画 | 労働者協同組合 Barrier House Project YAZU

第二回目となる八頭町アートケアリングは、アーティストの松橋萌と藤田クレアの滞在プログラムを実施します。それぞれが八頭町の新興寺の拠点（一部、地域住民の家）に滞在しながら、本レジデンスの特色である、町が受け皿となってゲストと生活を共にするホームステイ式のアーティスト・イン・レジデンスを目指します。

本事業は、外部のアーティストが地域の日常に身を置き、人々の暮らしや風景に触れながら生まれる表現や思考の過程を、八頭町の文化として育てていくことを目的としています。高齢化が進む中山間地域において、生活の中で交わされる対話や関わりそのものを“広義のケア”として捉え、アートと地域の営みが自然に結びつく新しい関係づくりに取り組んでいます。

今年度は、滞在の幅が昨年度より広がる点が大きな特徴です。昨年度は特定の高齢者宅を中心に滞在进行しましたが、今年は複数の家庭を候補とし、年末年始の時期に合わせてより多様な住民との関わりを検討しています。松橋氏は自身が行っている「散歩会」を軸に、「よるべない人々が八頭町に集う」ことをコンセプトとし、地域住民を含む幅広い参加者との対話の場を生み出します。藤田氏は自身の牧場プロジェクトの計画のために、鳥取市内にある空山牧場のリサーチを兼ねた滞在制作を予定しており、地域住民、自然、動物との交流を通して新たな表現を模索します。

二人のアーティストが、それぞれの現在進行形のプロジェクトと八頭町の生活環境を重ね合わせることで、昨年度とは異なる広がりをもつ滞在プログラムとなり、地域に新しい文化の芽を育てる機会になることを期待しています。

今年の招聘アーティストの二組、藤田クレア氏と松橋萌氏が、八頭町（安井宿・新興寺）の地区に滞在し、地域住民と、交流・制作を行います。

2025年12月 - 2026年1月、2月

松橋萌氏、藤田クレア氏 滞在

2026/2/12 - 3/8:【報告展示】

八頭町芸術文化交流プラザ・あーとふる八頭にて展示

藤田クレア（ふじた・くれあ）

動力的な装置と有機物を組み合わせ、自身が生きる社会構造の中で、あるいは私的な人間関係の中で直面する問題や葛藤に根ざした作品を制作する。

主な個展に「ふとうめいな 繋がり」（資生堂ギャラリー、2020）「グループ展に「SOUND & ART展」（アーツ千代田333）、2021）がある。



松橋萌（まつはし・もえ）

2025年に東京藝術大学院映像研究科メディア映像専攻修士課程修了。「アートとケアの結び目を散歩で作る」をテーマに散歩会・キャンプ・ケアセンターを開催。地域住民と共同でのリサーチを通して、散歩会を開いている。人々の日常や声に寄り添うための対話の場である「ケアの演劇」を編み出すことを目指している。活動のアーカイブをZINEとして発行する他、これを疎外や大きな権力に対する柔らかな抵抗のネットワークとして築いていくことを目指している。



報告展示会場



八頭町芸術文化交流プラザ あーとふる八頭
〒八頭郡八頭町安井宿1346番地
開場時間：午前10時から午後4時まで
（但し、祝日を除く月～水は休館）

労働者協同組合 Barrier House Project YAZU（バリアハウスプロジェクトヤズ）は、鳥取県八頭郡八頭町を拠点とした、アーティストや建築家、起業家で構成された法人です。

将来的に芸術や福祉が感じられる地域の拠り所を里山につくるために、2024年3月に設立されました。本アーティスト・イン・レジデンス事業は、八頭町教育委員会の委託事業として、2年目となるプログラムです。

お問合せ先

Email: osaki@barrier-house.com
（労働者協同組合 Barrier House Project YAZU）